

議会だより



りゅうおう

No.172

2015年8月1日
滋賀県竜王町議会



七夕さまの
おはなしはね…

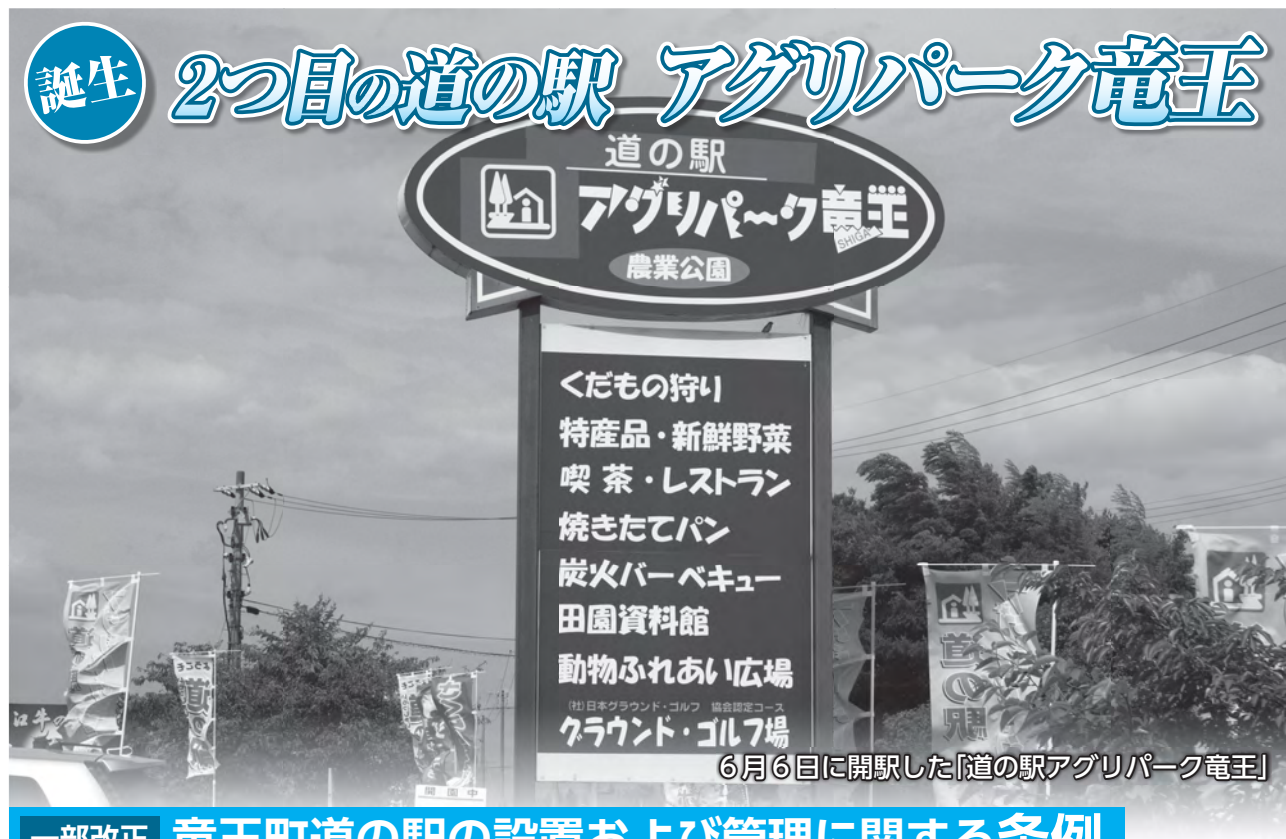
臨時会	徹底審議	3
町民懇談会を開催		6
町政	ここを問う	7

6月
定例会

ひまわり保育園 たなばた会 (7月7日)

平成27年 第2回定例会

平成27年第2回定例会は、6月5日から22日までの18日間の会期で開かれました。
条例関係2件、補正予算3件、人事案件2件、報告1件が提出され、すべて原案どおり可決等されました。



6月6日に開駅した「道の駅アグリパーク竜王」

一部改正 竜王町道の駅の設置および管理に関する条例

「アグリパーク竜王」についても道の駅として登録を受けたことに伴い、本条例の対象が「竜王かがみの里」であることを明確にするため一部改正を行うもの。

問 アグリパークが道の駅となったのに、なぜ道の駅設置条例を定めないのか。

答 今後、アグリパーク竜王を含めた竜王町 道の駅の運用に係る例規の整備検討を急ぎ進めていく

いと考えております。

問 駐車場内が非常に暗く照明器具を早急に設置し、安全確保を図れないか。

答 対応が遅れていますが、早期に設置します。

一部改正 竜王町介護保険条例

消費増税による公費を投入し、低所得者の介護保険料について軽減を行うこととされた法改正に伴う改正。
所得段階第1段階の保険料率33,600円を平成27・28年度は30,240円とするもの。

一般会計補正予算(第2号)の概要

歳入歳出それぞれ2,592万2千円を増額する。(関連記事→4ページ)

歳 入	(千円)	歳 出	(千円)
介護保険事業費補助金	1,598	介護保険システム改修業務委託料	3,197
経営体育成支援事業費補助金	7,359	シルバー人材センター補助金	1,470
財政調整基金繰入金	8,000	経営体育成支援事業補助金	7,359
前年度繰越金	8,354	中学校施設災害復旧事業	8,100

灯油流出事故を追及!!

不適切な管理体制があらわに!!

竜王中学校灯油流出事故の対策に
8,170万円の増額補正

財源について、8,100万円は財政調整基金を
繰入れ、70万円は前年度繰越金を充当。

危険物管理を学校現場に任せて安全は
確保できるのか？

ばく
莫大な損害は誰が負担するのか？

中学校前の復旧工事▶



原因 「暖房器具の使用期間の終了に伴う機器の閉栓作業についてその手順を誤った事
と、その作業を学校現場に任せ、専門業者による閉栓作業体制をとってこなかった教育
委員会の施設管理に原因があります。」
(5月25日「町民の皆さまへ」の中間報告から抜粋)

質 疑

問 ここ3年間に、水道量水器の期限切れ・庁
舎別館火災・今回の事故など多数の事故・事
案が続いている。事故防止に向けたマニュアル
は作成配置しているのか。また、危険物管理を
学校現場のみに任せていてよいのか。

問 町長就任後、経費削減による財政健全化の
成果は認められるものの、そのために町民には
様々な辛抱を求めてきたのに、今回の大きな損
害は全くの無駄ではないか。

問 5月25日付の町民皆様への「お詫びと中間
報告」だけで済みますか。との町民の声に、町
長・教育長はどのようにこたえるのか。

問 損害額は町税のみで補てんするのか。

回 答

答 適切なマニュアルがないことと、管理委託
契約の不備により学校現場に作業を任せてい
たことが大きな原因。この2つの原因が重なり
大きな事故となった。お詫びします。教育委員
会がマニュアルを作成し各施設に配置します。

答 今回の事故は人為的要素が大きいので我々
の責任は大きい。特に金額が大きくなったこ
とに申し訳が立たない。

答 安全安心な学校生活となるよう、総点検を
行い、その上で教育の充実のため、さらにま
い進みます。

答 町 長：事故の責任は管理者の教育委員会
にあり、全体的な責任は私にある。

答 27年度予算で基金の取り崩しを行うことに
しているが多大な損害額が発生した。新たな
企業誘致を積極的に行うことや、行政も身を
切る覚悟で少しでも補てんをする。

常任委員会の活動

総務産業建設常任委員会 6/12



小口地先 町有地

企業立地(物流拠点施設)が、不成立

- 進出希望企業と土地の価格に大きな乖離があり、成立しなかった。

問 昨年に正式依頼を受けたということだが、正式依頼があったのなら結果的に違約ではないのか。

答 昨年に正式に交渉がスタートしたが、契約や協定には至りませんでした。

問 当該町有地は宅地としても利用できるのか。

答 用途区分からすると工業地域となりますので可能です。



名神高速道路沿いの町有地

平成27年度 一般会計補正予算(第2号)
2,592万2千円の増額

問 文化財保護費に印刷製本費が計上されているが、どのようなものを作成するのか。

答 苗村神社三十三年式年大祭の詳細調査を実施した滋賀県立大学のデータを活用し、民俗文化財として後世へ引き継ぎ、保存、伝承していくため、報告書を作成するものです。

問 シルバー人材センター補助金の増額の要因は何か。

答 高齢者の雇用、就労拡大として主に人員不足分野等への就労機会の開拓を図ることを目的に国の補助単価の限度額が引き上げられたことによるものです。

意見 補正予算の審査にあたり、予算枠の背景や内容について熟知し審査に臨まれない。



作業するシルバー人材センターの会員



竜王中学校、ICT機器の活用状況

●タブレット端末の導入による効果

これまでのICT機器の課題を克服し、持ち運びが便利で、操作が容易であるタブレット端末の導入が全国的に検討されている。

●授業の見学

生徒の集中力やコミュニケーション能力を伸ばし、より効果的な学習となることが期待できるように感じた。



ICT機器による授業風景(竜王中学校)

問 タブレット端末による授業内容を生徒が復習するために、USBメモリ等に記録させて持ち帰ることは可能か。

答 著作権等の問題があるため、現段階では難しいです。

問 タブレット端末を使いこなせない生徒への配慮はどのようにするのか。

答 すべての授業がICT機器を用いた授業ではありません。ICT機器による授業では、必要に応じ補助する教師をつけるなど検討します。

※ICTとは…Information and Communication Technology(情報通信技術)の略

特別委員会の活動



住宅施策の状況

●総合庁舎周辺、山之上地先などの住宅施策の状況について説明を受けた。

総合庁舎周辺▶



問 総合庁舎周辺の開発は見込めないのか。

答 住宅地には最適だが農地法の規制は厳しい。地方創生という側面から国へ要望をしていきます。

問 山之上の農地の供給価格はどの程度なのか。生活インフラはどのようにするのか。

答 当町は町営住宅もなく町の直接投資も行っていないことから、町がインフラ整備を行い、住宅地の販売価格を引き下げます。



滋賀竜王工業団地について

●工事は計画通り進捗している。

●企業誘致セミナーを東京・京都・東海中部圏で開催するほか、びわ湖環境ビジネスメッセにも出店を予定。



岡屋交差点改良工事

問 トップセールスはどのような企業に行うのか。

答 主に進出に興味を示した企業に対して行います。



雪国まいたけについて

●(株)雪国まいたけは、(株)ベインキャピタルの完全子会社となる。

●山面地先の所有地については、カット野菜工場を存続させた上で、残地を分譲売却するとの説明があった。

問 農工法計画の変更は可能なのか。

答 農工法の期限を認識した上で、まず地元の理解を図りながら、県の許認可が得られるよう会社と協議をしていきます。

懇談会で

ホンの

意見が続々と…

5月16日、町公民館にて町民懇談会を開催しました。町民など49名が参加し、全体会で課題提起の後、2つの分散会に分かれて意見交換が行われました。

課題提起

- ・人口減少
- ・若者定住
- ・子育て環境



意見続出の分散会



分散会での主な意見

- ・空き家の活用対策が行われていない。
- ・工業団地に企業が進出しても、従業員用住宅が整っていないのが心配だ。
- ・自転車での通学は通勤時間帯とも重なり、道も狭く歩道もなく事故の危険性が高い。通学路なら自転車通行可の歩道が必要。
- ・若い人が結婚して町内に残ってほしいが、集落には行事関係が多く、伝統を重んじるのも大切だが、もっと簡素化を行うことも必要である。
- ・竜王町は公共交通手段が乏しく通学に不便なのでバスの便数を増やすなど改善してほしい。
- ・町内や近隣市町で仕事、生活のサイクルができるなら竜王に住み続けていけると思う。
- ・自治会の役が当たったりするので、当たらないところへ出ていく人もいるのではないかな。
- ・少子高齢化が進んで人口減少が大変な問題であるということが竜王町民に浸透していないような気がする。
- ・核家族が現実的に増えており、竜王町に残っているのは高齢者、しかもひとり暮らしが多いのではないかな。若い人の流出を食い止める施策をしなければならない。



歩道の狭い通学路

竜王町の高齢化率など(27年6月末現在)

・人口	12,450人
・高齢化率(65歳以上の人口比率)	23.2%
・0～14歳年齢人口比率	13.9%
・ひとり暮らし高齢者数※	123人

※26年1月実施の日常生活圏域ニーズ調査より

アンケートでも意見が続出

- ・若い親たちは、福祉の面で改善を望んでいると感じた。
- ・人口を増やすことも大事だが、減らさないようにということも視野にいれるべき。
- ・青年団をはじめそれぞれの社会教育団体が活発になることが、人口が減らない秘訣かなと確信した。
- ・青年団も活動がしにくくなってきた。
青年団は、青年時期だからできる団体であり、絶対に必要な団体だと思っている。今後の世代にも引き継いでいくために、強い支援をいただきたい。
- ・“消えゆく竜王”を町民は意識していないように思う。各戸にアンケートを取るなど、意見集約に向け、一歩でも前進させる必要あり。



青年団員による美化活動

滋賀県内で「将来消滅するおそれがある」とされた自治体※
竜王町・甲良町・多賀町
「地方消滅」増田寛也編著より

※若年女性（20～39歳の女性）の数が、2010年から2040年にかけて5割以下に減少すると日本創生会議が推計した自治体。

あなたの声を 市政に

6月定例会で8人が一般質問を行いました。

ページ	質 問 事 項	質 問 者
8	町財政の拡充にふるさと納税を	山田 義明
	公共工事の適正化について	小森 重剛
9	竜王町「たつ子議会」の提言について	古株 克彦
	地方版総合戦略の策定について	松浦 博
10	1. 地域おこし協力隊との連携について	内山 英作
	2. 竜王町人口の激減と第五次総合計画について	
	3. 地域コミュニティの絆づくりについて	
11	遊具の点検について	竹山 兵司
	空き家等の対策について	貴多 正幸
12	ひとづくり、まちづくりへの本気度を問う	菱田 三男

質
問
席



山田 義明 議員

問 町財政の拡充に ふるさと納税を

答 積極的な活用を進める

▶他市町の謝礼品の
パンフレット



答 昨今の自治体間における当該寄付に対する返礼品競争は、本来の制度の趣旨からすると馴染

問 今回発生した灯油漏れ事故の一億円に近い経費の財源の捻出と、税率引き下げによる法人町民税の減収などの財源確保にふるさと納税制度の拡充と強化を強く提案する。また、謝礼品に特産品を活用することにより地域の産業振興にもなるがいかがか。

ふるさと納税とは

自分の生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域や、これから応援したい地域の力になりたいという思いを実現し、「ふるさと」へ貢献するための制度です。
(総務省HPより)



近江うし丸

まないと考えている。しかしながら、この制度は、地方からの発信力の強化や地域全体の活性化、地方創生の実現に向けた大きな視点から見れば、町財政の充実に寄与するとも考えられる。よって、当町においても、ふるさと納税制度の積極的な活用を進める。



小森 重剛 議員

問 公共工事への

今後の取り組みは？

答 公共工事の適正化に向け、取り組む

問 今回、関連する3つの法律が改正された。品質法は公共工事の品質確保の促進、入契法は公共工事の入札契約の適正化、建設業法では建設工事の適正な施工確保と建設業の健全な発展が目的となっている。

答 今回の法改正は、本町における社会基盤の整備や災害発生時の応急対応など「みんなが安心して暮らせるまちづくり」を実現するうえで、合致するものと考ええる。

そこで、当町にあっては今回の法改正をどのように評価し、今後どのように取り組むのか伺う。

また、地元企業が、地域住民の生活と経済活動の基盤となるべく、地域経済の発展とともに、災害時における対応、復旧活動などに地域貢献いただけるよう、建設業の健全な発展を念頭に、適切に進める。

▶工事中の滋賀章土工業団地



問 竜王町「たつの子議会」の 提言をいかに!

答 まちづくりに生かす



古株 克彦 議員



質問する子ども議員(3月21日開催)

問 町制60周年記念として、「子ども議会」が開催された。
この議会は、子どもたちのまちづくりへの関心を高めてもらい、多くの人に議会を身近なものとして捉えてもらうことを目的としたものであるが、子ども議員の提言に対して、次世代の声に耳を傾け、希望を実現させるまちづくりに挑めないかと思う。

答 子どもたちからの提言は、これからのまちづくりに生かさなければと認識している。
本年は、第五次竜王町総合計画の後期計画の策定および地方版総合戦略の策定にあたり、5年前と同様に中学校の皆さんにアンケート等を実施して若い世代からの意見を計画の中に出来る限り盛り込んでいく。

問 地方版総合戦略の 策定について

答 年末までに策定



松浦 博 議員

問 まち・ひと・しごとへの創生に向けた「地方版総合戦略」の策定に積極的に取り組むと表明しているが、具体的計画を伺う。

答 1、効果的に国からの支援も得て、アイデアと工夫を凝らしつつ「産官学金労言」などで協議を進める。
2、将来の人口減少問題克服に向けた取り組みが重要であり、人口増加に効果
3、国が提示する財政支援を活用し、町の財政負担の軽減を行う。
4、効果を評価できる具体的な数値目標を設定し、これを評価し改善につなげるPDC Aサイクルを構築する。
5、国からの派遣等人的支援はないが、地方創生コンシェルジュ制度を効果的に活用する。



町制60周年を機に地方創生へ



内山 英作 議員

問 地域おこし協力隊との連携は？

答 他の自治会への
情報の提供に努める

問 今年度策定予定の竜王町総合戦略の中での地域おこし協力隊の位置づけと活用は？
各集落・自治会と地域おこし協力隊との連携はどうか伺う。

答 竜王町総合戦略に位置づけ、地方創生先行型の交付金を活用した「観光振興強化事業」を効果的に活用しつつ、竜王町の地域資源情報を町内外へ発信する。



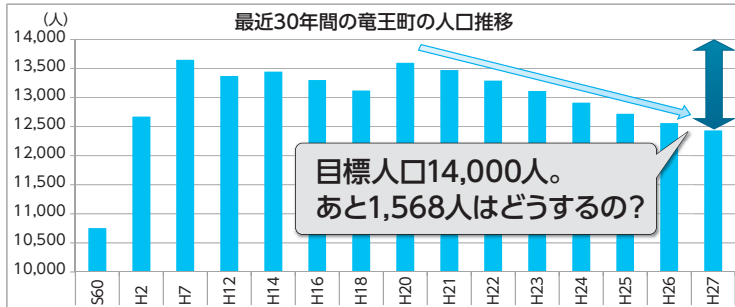
地域おこし協力隊の2人

問 竜王町人口の激減と第五次総合計画

答 新たな住宅地整備等、
大きな進展には至っていない

問 平成20年3月末から今年の3月末までの7年間に竜王町の人口は1166人、率にして8・6%、年間平均167人の減少である。その原因は何か。
第五次竜王町総合計画での人口増加に向けた今日までの取り組みについて伺う。

答 自然動態（出生・死亡）より社会動態（転入・転出）の変化が著しい。
社会動態では、平成19年度は60人の増であったが、それ以降転出が上回り、1058人、年平均約150人の減少。町内企業の入寮者の減少、20歳代の若者世代の転出数が大きな比率を占めている。



子育て支援、教育、企業誘致など一定の環境整備を実施してきたが、成果が上がっていない。

問 地域コミュニティの絆づくり

答 地域コミュニティ計画策定率 ^{ゼロ} 0

問 第五次竜王町総合計画の中に「地域コミュニティの絆づくり」があるが、今日までの自治会への支援と地方創生元年にふさわしい今後の支援方策について伺う。

答 自治会の健康診断「地域カルテ」を作成し、

第五次竜王町総合計画 自治会の健康診断



先進的な事例を報告書としてまとめ全自治会へ配布した。
自ら考え自ら行うまちづくり事業の「地域活性化活動」では、17の自治会で工夫を凝らした取り組みを展開された。
地域ビジョンづくりに向けた取り組み（地域コミュニティ計画の策定）を今年度も年度当初の区長会で依頼した。

問 町内の遊具の管理状況は

答 さらなる適正な管理へ



竹山 兵司 議員



◀自治会管理の遊具
(西山区の公園)



町管理の遊具▶
(妹背の里)

問 大津市内で発生した県管理遊具の事故を受けて町内遊具の管理状況について伺う。

答 町管理の遊具は年一回の点検をしており、各自治会公園の遊具は各自治会管理であるが、点検

調査費用、修繕・撤去費用に対して助成をしている。町管理遊具のさらなる適正な管理に努めるとともに、各自治会遊具についても引き続き安全確保のため適正な管理に向けた指導に努める。

問 空き家等の対策について

答 有効活用と適切な管理に努める



貴多 正幸 議員

「特定空家等」とは

- ①倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態
- ②著しく衛生上有害となるおそれのある状態
- ③適切な管理が行われないことにより著しく景観を損なっている状態
- ④その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にある空家等をいいます。



近江うし丸

問 空家等対策の推進に関する特別措置法が本年5月に完全施行されたが、町としてどのような展開を考えているのか。

答 空き家等の有効な活用を進める観点と適切な管理が行われていない特定空家等への対策を図る双方の観点から、単に空き家の有無のみでなく、使用が可能な状態か、管理が行われているか、何らかの対策が必要であるかなど、各地域における空き家の調査について、工夫を加えながら継続して実施する。必要によっては現地調査を行う中で、空き家の有効活用と適切な管理の促進に努める。



▶放置された空き家

問 ひとつくり、まちづくりへの 本気度を問う

答 住宅整備を目に見える形へ



菱田 三男 議員

問 近年、住宅整備計画が審議された「B Mグラウンド跡地の開発および山之上地先住宅開発は、実現には至っていない。人口は減少の一途をたどっており、第五次竜王町総合計画の検証が求められる今、町長自身の本気度を伺う。

答 町長 本町の一番の課題は若い人達が求めやすい住宅環境整備を行うことであり、地方創生の今がラストチャンスと捉えている。
 ともかくにも目に見える形を示さないとけないという決意でいる。



議場の町長席

編集後記

我々、第15期議員はこの8月に最後の定例会を迎えることとなります。
 町民皆様から負託を受けた政策実現に努めています。いまだ道半ばの案件も多く残っており、議員一人ひとりととって4年間の議員活動の集大成として定例会に臨んで

まいります。
 ぜひ、多くの皆さまの傍聴をお待ちしています。

議会広報特別委員会
 委員長 松浦 博
 副委員長 内山 英作
 委員 竹山 兵司
 岡山 富男
 古株 克彦

シリーズ いきいき人生

美松台在住 おち あい たか こ
 落合 孝子 さん

女性消防に携わり



私たち、女性消防隊員の活動は主に町内における啓発活動に努めています。幼稚園訪問時には、「火の用心」のカルタを用い、なぞなぞ形式で園児たちに楽しく学んでもらいました。また、ひとり暮らしの高齢者宅の訪問や老人会の集りにも積極的に参加し「火」の取り扱い、火災報知器の設置の案内と同時に数々のお話も伺い、我々も楽しみながら勉強もさせてもらっています。

これからも、皆様と共に安心安全なまちづくりを目指していければと願っています。